
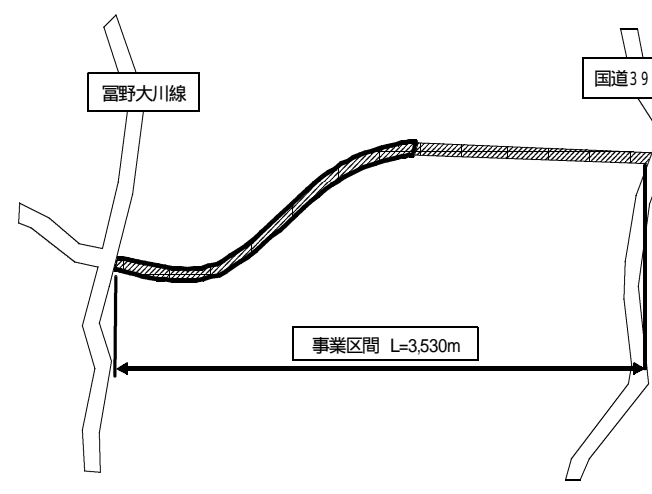


## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：沖縄総合事務局道路建設課  
担当課長名：松浦 利之

<b>事業名</b> 一般県道 <small>おおはまとみの</small> 大浜富野線	<b>事業区分</b> 地方道	<b>事業主体</b> 沖縄県												
<b>起終点</b> 自：沖縄県石垣市大浜 至：沖縄県石垣市白保	<b>延長</b> 3.5 km													
<b>事業概要</b> 一般県道大浜富野線は、島の東側の国道390号と中央を縦断する富野大川線を結び、大里集落以北の地域と市街地との最短ルートを形成し、地域の交流促進、観光を支援する道路である。														
H 7年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 8年度用地着手												
全体事業費 17億円		事業進捗率 55%												
計画交通量 2,300台/日		供用済延長 1.3 km												
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 7/20億円 事業費：5/18億円 維持管理費：2/2億円	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 50/50億円 走行時間短縮便益：50/50億円 走行費用減少便益：-1/-1億円 交通事故減少便益：1/1億円												
B/C (事業全体) 2.5 (残事業) 7.1		<b>基準年</b> 平成16年												
<b>事業の効果等</b> ・個性ある地域の形成（特別立法に基づく事業である・主要な観光地へのアクセス向上が期待できる）														
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 石垣市より早期整備の要請を受けている。（平成16年10月）														
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 本路線近傍にJリーグがキャンプするサッカー場が完成し、新たな観光施設として注目されている。石垣島を訪れる観光客は年々増加しており、観光支援や地域交流促進を図る道路として、本路線の整備はますます重要になっている。														
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 一部において用地補償協議が難航し期間を要したが、現在までに1.3 kmを部分供用している。														
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 平成18年度までに用地買収を終了し、平成19年度に工事を完了させ全線供用の予定である。														
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 特になし。														
<b>対応方針</b>	事業継続													
<b>対応方針決定の理由</b>	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。													
<b>事業概要図</b>														
		<table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>供用中</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>事業中</td> <td>.....</td> </tr> <tr> <td>再評価対象事業</td> <td>▨▨▨▨▨</td> </tr> <tr> <td>うち供用中</td> <td>▨▨▨▨▨</td> </tr> <tr> <td>調査中</td> <td>○○○○○○○○</td> </tr> </tbody> </table>	凡 例		供用中	—————	事業中	.....	再評価対象事業	▨▨▨▨▨	うち供用中	▨▨▨▨▨	調査中	○○○○○○○○
凡 例														
供用中	—————													
事業中	.....													
再評価対象事業	▨▨▨▨▨													
うち供用中	▨▨▨▨▨													
調査中	○○○○○○○○													

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。